

各 位

 フィデアホールディングス株式会社  
 株式会社 荘内銀行  
 株式会社 北都銀行

**平成 28 年 3 月期 第 2 四半期（平成 27 年度 中間期）決算概要について**

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 28 年 3 月期 第 2 四半期（平成 27 年度 中間期）の連結業績と株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

**1. フィデアHD**
**(1) 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）連結業績**

地方創生への取り組みや宮城県における店舗網拡大効果等による好調な業容拡大を背景に、經常収益は増収。有価証券ポートフォリオマネジメントの奏功や経費及び与信関係費用の減少等から、業務純益、コア業務純益は増益。經常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、昨年に続き過去最高益を更新。荘内銀行の中間純利益、北都銀行の經常利益及び中間純利益も、同様に過去最高益を更新。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比 1,432 億円 (5.8%) 増加し 2 兆 5,883 億円。貸出金残高は、個人ローンや法人向けを中心に前年同期末比 470 億円 (2.7%) 増加し 1 兆 7,455 億円。

連結自己資本比率は、内部留保の積み上げや転換社債型新株予約権付社債の普通株式への転換により前年同期末比 0.43 ㊦上昇し 9.67% (速報値)。

コア業務粗利益経費率 (OHR) は、前年同期比 3.95 ㊦改善し 71.48%。

2 行合算 (単体) の金融再生法開示債権比率は、前年同期末比 0.42 ㊦低下し 2.25%。

			フィデアHD					
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率		
【連結】	損 益	經常収益	(1)	27,446 百万円	25,174 百万円	2,271 百万円	9.0 %	
		業務純益	(2)	6,378 百万円	5,934 百万円	444 百万円	7.4 %	
		コア業務純益*	(3)	5,816 百万円	4,822 百万円	993 百万円	20.5 %	
		經常利益	(4)	7,682 百万円	5,799 百万円	1,882 百万円	32.4 %	
		親会社株主に帰属する中間純利益	(5)	5,903 百万円	5,007 百万円	895 百万円	17.8 %	
	主要勘定残高 (末残)	総資産	(6)	28,812 億円	27,139 億円	1,673 億円	6.1 %	
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	25,883 億円	24,450 億円	1,432 億円	5.8 %	
		貸出金	(8)	17,455 億円	16,985 億円	470 億円	2.7 %	
		有価証券	(9)	10,248 億円	9,051 億円	1,196 億円	13.2 %	
		自己資本比率	自己資本比率(速報値)	(10)	9.67 %	9.24 %	0.43 ㊦	
【合算】	不良債権	經營効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(11)	71.48 %	75.43 %	Δ 3.95 ㊦	
		金融再生法開示債権額	(12)	40,450 百万円	46,557 百万円	Δ 6,106 百万円	Δ 13.1 %	
		総与信に占める割合	(13)	2.25 %	2.67 %	Δ 0.42 ㊦		
		与信関係費用	(14)	Δ 25 百万円	486 百万円	Δ 511 百万円	— %	

\* コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 (以下、同様。)

**(2) 平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）連結業績予想等**

当中間期の実績を踏まえ、經常利益は当初予想比 25 億円増益の 135 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想比 20 億円増益の 100 億円と上方修正しております。なお、平成 28 年 3 月期の配当は、当初予想を変更せず、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当 (年間 5 円) を計画しております。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	經常利益	(15)	13,500 百万円	2,634 百万円	24.2 %
	親会社株主に帰属する当期純利益	(16)	10,000 百万円	2,342 百万円	30.5 %

(次ページへ)



## 2. 荘内銀行

### (1) 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）単体業績

経常収益は、資金運用収益の増加等により増収。預金の増加を背景とした運用資産の積み上げや、ポートフォリオマネジメント及び機動的なオペレーションによる有価証券関係収益の増加が寄与。

コア業務純益、経常利益は、いずれも増益。中間純利益は、昨年に続き過去最高益を更新。

積極的なチャネル展開や商品施策等が奏功し、業容は引き続き順調に拡大。譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比 1,058 億円 (8.5%) と大幅に増加し 1 兆 3,437 億円。貸出金残高は、個人ローンや法人向けが増加し、前年同期末比 329 億円 (3.6%) 増加の 9,415 億円。

単体自己資本比率は、内部留保の積み上げが進む一方で、劣後債の期限前償還やリスクアセットの増加等により前年同期末比 0.97 ㊦低下して 9.86% (速報値)。

金融再生法開示債権比率は、前年同期末比 0.04 ㊦低下して 2.62%。

			荘内銀行			
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
損益	経常収益	(17)	13,430 百万円	12,199 百万円	1,230 百万円	10.0 %
	業務純益	(18)	2,857 百万円	3,023 百万円	△ 166 百万円	△ 5.5 %
	コア業務純益	(19)	2,883 百万円	2,858 百万円	24 百万円	0.8 %
	経常利益	(20)	3,428 百万円	2,967 百万円	460 百万円	15.5 %
	中間純利益	(21)	2,126 百万円	1,906 百万円	220 百万円	11.5 %
【単体】 主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(22)	13,437 億円	12,378 億円	1,058 億円	8.5 %
	貸出金	(23)	9,415 億円	9,085 億円	329 億円	3.6 %
	有価証券	(24)	5,190 億円	4,379 億円	811 億円	18.5 %
自己資本比率	自己資本比率(速報値)	(25)	9.86 %	10.83 %	△ 0.97 ㊦	
経営効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(26)	70.60 %	70.29 %	0.31 ㊦	
不良債権	金融再生法開示債権額	(27)	25,206 百万円	24,704 百万円	502 百万円	2.0 %
	総与信に占める割合	(28)	2.62 %	2.66 %	△ 0.04 ㊦	
	与信関係費用	(29)	106 百万円	199 百万円	△ 92 百万円	△ 46.4 %

### (2) 平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）単体業績予想等

平成 27 年 5 月 11 日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常利益	(30)	5,500 百万円	487 百万円	9.7 %
	当期純利益	(31)	3,500 百万円	486 百万円	16.1 %

(次ページへ)



### 3. 北都銀行

#### (1) 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）単体業績

経常収益は、有価証券ポートフォリオマネジメントの奏功による資金運用収益の増加や、プロジェクトファイナンス組成における関連手数料の積上げによる役務取引等収益の増加などから、増収。

資金利益や役務取引等利益の増加、加えて経費、与信関係費用の減少により、業務純益、コア業務純益、経常利益、中間純利益はいずれも増益。経常利益、中間純利益は、昨年に続き過去最高益を更新。

ニューフロンティアビジネス（再生可能エネルギー分野、医療・介護分野等）の推進や地元貢献を企図した商品施策が奏功し、業容は引き続き順調に拡大。譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比 312 億円（2.5%）増加し 1 兆 2,587 億円。貸出金残高は、個人ローン、法人向け、地方公共団体向けがいずれも増加し、前年同期末比 142 億円（1.7%）増加の 8,204 億円。

単体自己資本比率は、内部留保の積み上げにより前年同期末比 0.81 ㊦上昇して 11.28%（速報値）。

金融再生法開示債権比率は、前年同期比 0.84 ㊦低下して 1.83%。

				北都銀行			
		番号		前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(32)	12,860 百万円	11,693 百万円	1,166 百万円	9.9 %
		業務純益	(33)	2,666 百万円	2,507 百万円	159 百万円	6.3 %
		コア業務純益	(34)	2,417 百万円	1,609 百万円	807 百万円	50.1 %
		経常利益	(35)	3,769 百万円	2,216 百万円	1,552 百万円	70.0 %
		中間純利益	(36)	3,417 百万円	2,607 百万円	810 百万円	31.0 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(37)	12,587 億円	12,275 億円	312 億円	2.5 %
		貸出金	(38)	8,204 億円	8,061 億円	142 億円	1.7 %
		有価証券	(39)	5,059 億円	4,757 億円	301 億円	6.3 %
	自己資本比率	自己資本比率(速報値)	(40)	11.28 %	10.47 %	0.81 ㊦	
	経営効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(41)	74.90 %	82.47 %	△ 7.57 ㊦	
	不良債権	金融再生法開示債権額	(42)	15,243 百万円	21,852 百万円	△ 6,609 百万円	△ 30.2 %
		総与信に占める割合	(43)	1.83 %	2.67 %	△ 0.84 ㊦	
		与信関係費用	(44)	△ 131 百万円	287 百万円	△ 418 百万円	— %

#### (2) 平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）単体業績予想等

当中間期の実績を踏まえ、経常利益を当初予想比 24 億 50 百万円増益の 74 億円、当期純利益を当初予想比 22 億 50 百万円増益の 63 億円と上方修正しております。

				通期	
		番号		前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常利益	(45)	7,400 百万円	2,460 百万円	49.8 %
	当期純利益	(46)	6,300 百万円	2,272 百万円	56.4 %

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

大石 TEL : 022-290-8800  
 フィデアホールディングス IRグループ 佐藤 TEL : 023-626-9006  
 市田 TEL : 018-837-1726

くわしくは、「平成 28 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。